

別紙

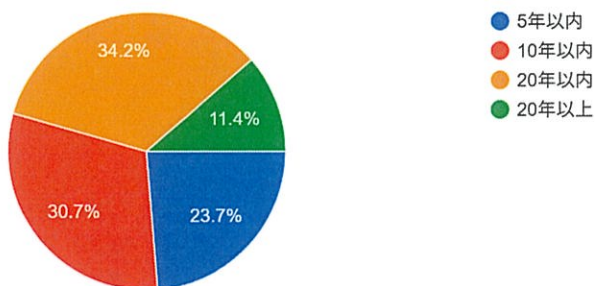
職員アンケート結果

令和7年5月19日から令和7年6月2日までを回答期限として法人全職員（学園長、総合施設長、副総合施設長、法人本部長を除く）を対象にアンケートをとった。回答数はグーグルフォームでの回答が114件、紙媒体での回答が2件であった。グーグルフォームでの回答についての集計結果は以下の通りである。

1 選択式の質問に対する回答について

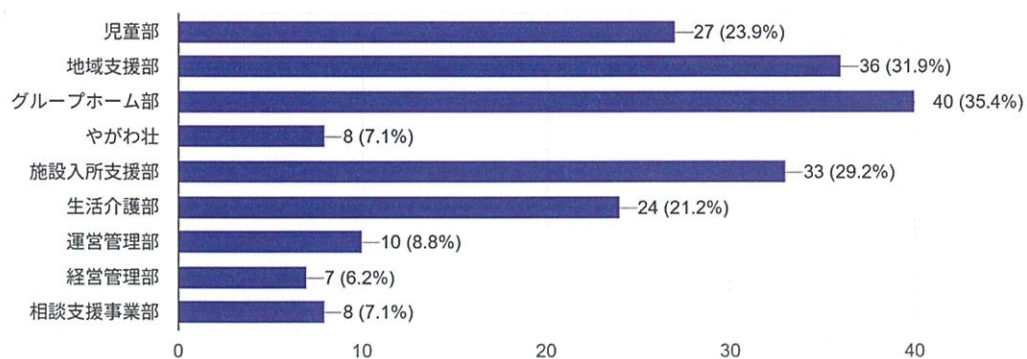
勤務年数をおしえてください

114件の回答



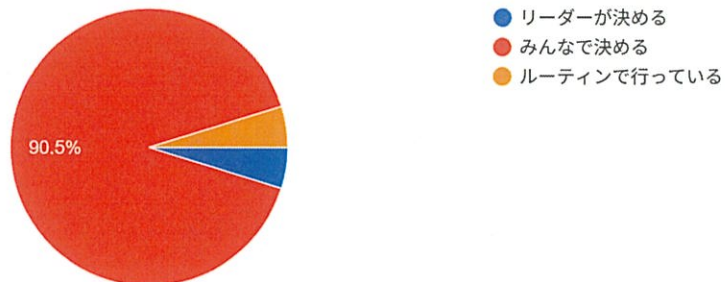
経験したことのある部署はどれですか（複数回答可）

113件の回答



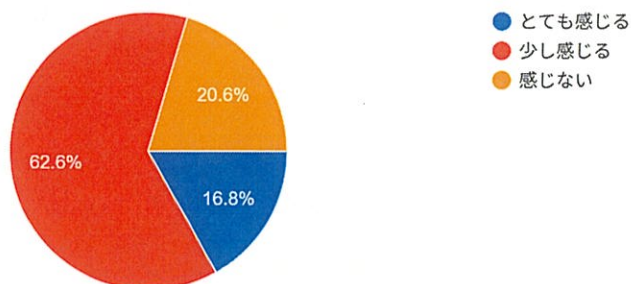
支援内容や利用者の活動内容はどのように決定していますか

105 件の回答



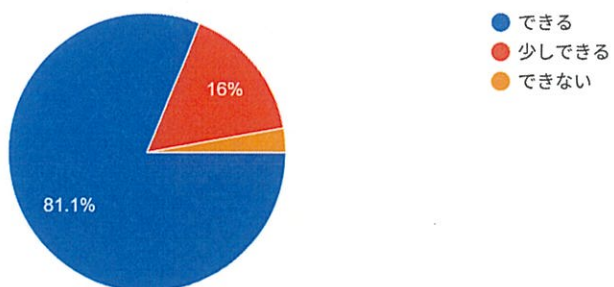
支援に負担を感じることはありますか

107 件の回答

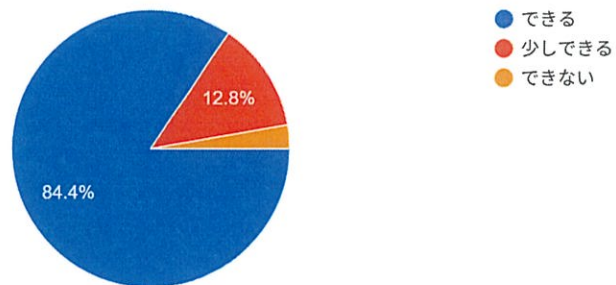


支援に悩んだときに直属の上司に相談できますか

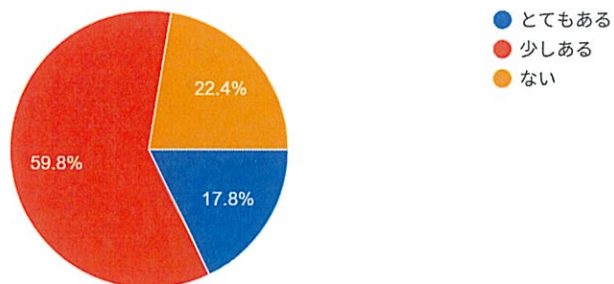
106 件の回答



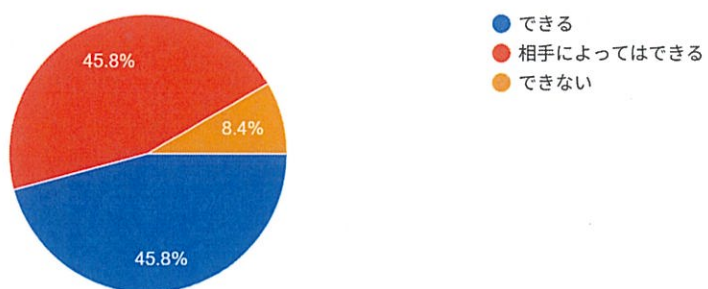
支援に悩んだときに同僚職員に相談できますか
109 件の回答



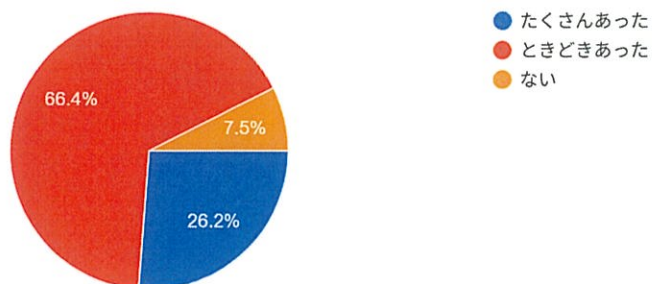
支援内容に疑問を感じたことがありますか
107 件の回答



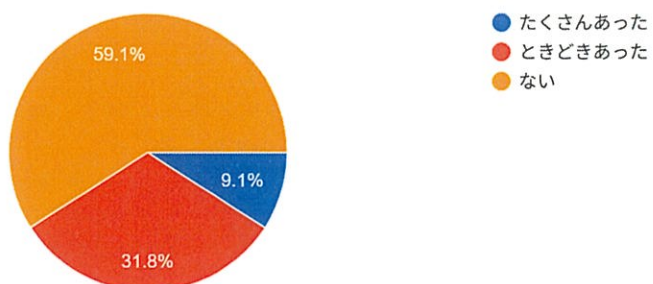
支援内容に疑問を感じたときに、職員同士で指摘し合えますか
107 件の回答



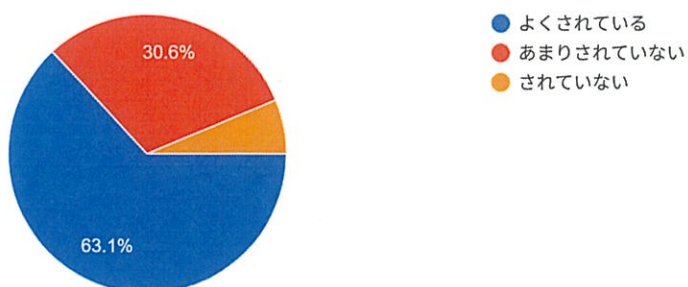
利用者の支援をしていてヒヤリとしたことはありますか
107 件の回答



ヒヤリとしたことがあってもヒヤリハット報告をしなかったことはありますか
110 件の回答

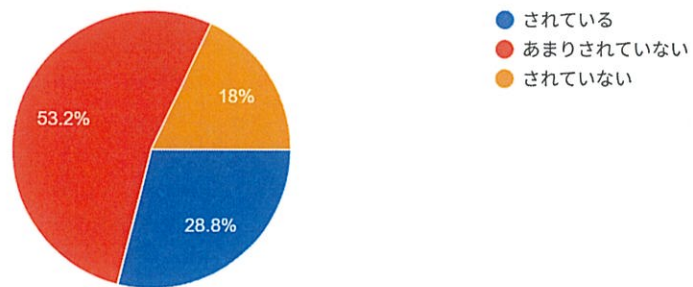


ヒヤリハット報告書は 自部署の職員間で共有されていますか
111 件の回答



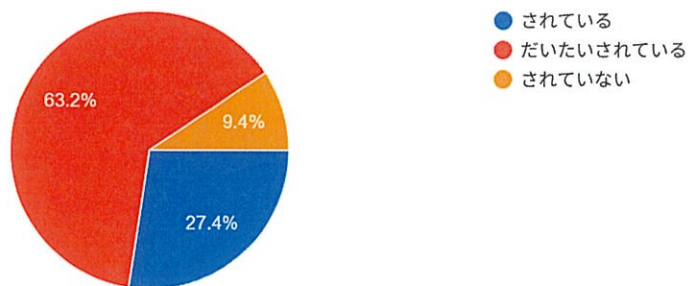
自部署でヒヤリハット報告書の統計・分析はされていますか

111 件の回答



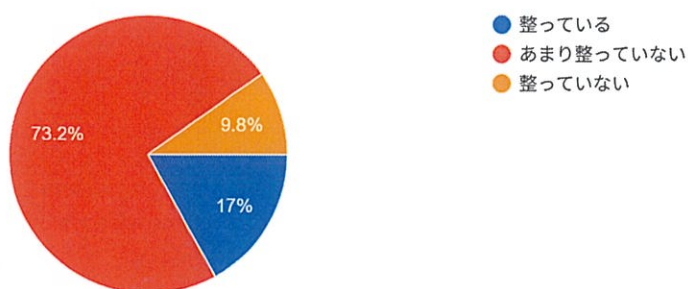
利用者の外出時の危険個所の共有はされていますか

106 件の回答



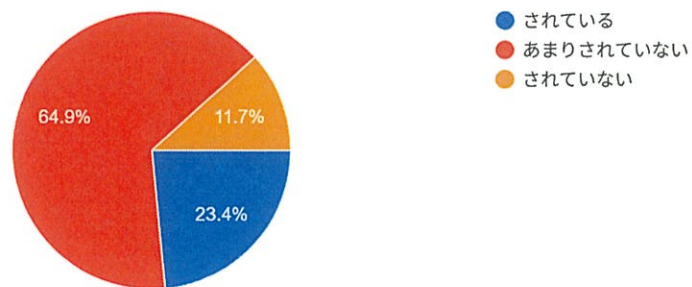
法人のリスクマネジメント体制は整っていると思いますか（マニュアルなど）

112 件の回答



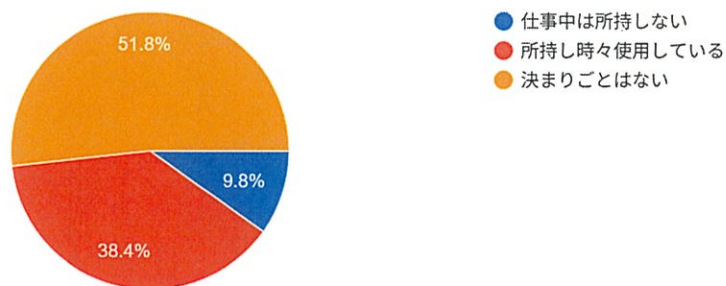
マニュアルは活用されていますか

111 件の回答



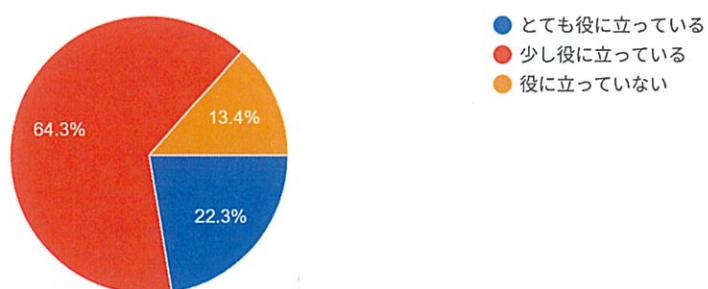
仕事中の個人の携帯電話の取り扱いはどうなっていますか

112 件の回答

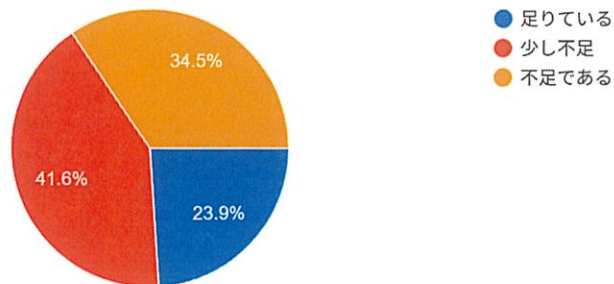


滝乃川学園で行われる研修（グループ内またはユ...の研修含む）は支援のために役に立っていますか

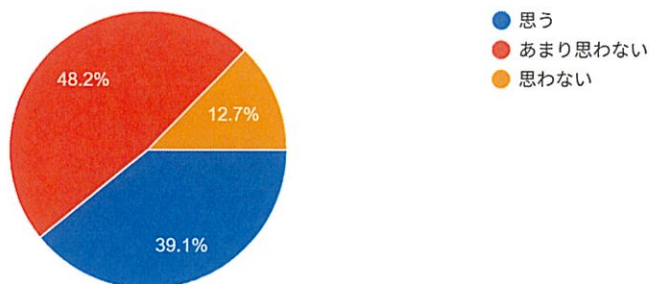
112 件の回答



現在の 自部署の職員の人数は足りていますか
113 件の回答



滝乃川学園は風通しの良い法人だと思いますか
110 件の回答



2 自由記述式のアンケートについて

- (1) 「支援内容に疑問を感じたことがある方はどのようなことを疑問に感じたか教えてください」という質問に対しては、66 件の回答が得られた。

支援か教育か、自由か安全かなど対応の方針が曖昧、支援の目的・背景の共有不足、形骸化した取り組み、支援が属人的・経験則頼りで一貫性に欠ける、一人勤務や閉鎖的な現場で相談・助言が得られにくい、若手がベテランのやり方に従わざるを得ない空気感、外部連携やアセスメント不足による支援の質の低下等の意見が寄せられた。

- (2) 「不足していると思う研修があれば教えてください」という質問に対しては、48 件の回答が得られた。

チームビルディング、他者との意見交換の場、管理職とスタッフの交流・対話型研修、他部署理解・部署間ローテーションによる実地学習、記録の書

き方研修、支援技術・安全管理、強度行動障害、重度知的障害の対応、危機管理、リスクマネジメント、法令遵守、職員規範の再確認、人権意識の啓発と実践、福祉制度や事業の制度的理解（最低限の知識がない職員も）、意思決定支援の研修、外部施設の見学、外部研修とのつながり強化、階層別研修の充実（中堅・ベテラン職員も対象にすべき）、有期職員への研修整備、事例検討の場の拡充等が指摘された。

- (3)「ヒヤリとしたことが「たくさんあった」又は「ときどきあった」を選択された方は、どうして報告しなかったのか教えてください」という質問に対しては46件の回答が得られた。

忙しさ・時間のなさ、口頭や通常記録で済ませた、報告手続きへのハードル、ヒヤリと認識していなかった・判断に迷った、職場の雰囲気や心理的障壁等の理由が寄せられた。

- (4)「今回の事故の原因をどう考えますか」という質問に対しては、100件の回答が得られた。

人手不足の常態化、見守りや安全管理の困難さ、管理職・法人の責任、現場の声と組織文化について意見が寄せられた。

- (5)「事故の再発を防ぐために必要なことは何だと思いますか」という質問に対しては、96件の回答が得られた。

人員体制・配置、アセスメントと特性理解、マニュアル・仕組み、職員教育・意識、コミュニケーションと組織文化、管理職・組織体制等の観点からの意見が寄せられた。

- (6)「滝乃川学園の組織的な課題があったら教えてください」との質問に対しては、74件の回答が得られた。

組織風土・文化、組織構造・関係性、人材と労働環境、教育・研修等の観点から意見が寄せられた。

別紙 2

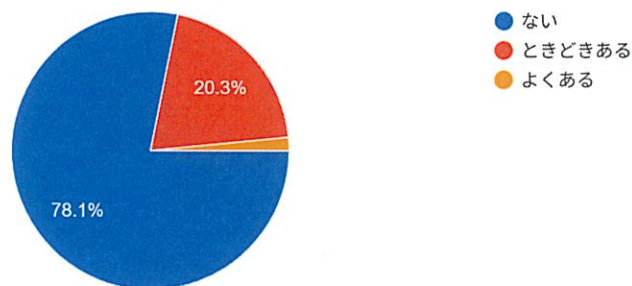
利用者家族・後見人等アンケート

令和 7 年 5 月 1 9 日から令和 7 年 6 月 1 6 日までを回答期限として利用者家族・後見等アンケートをとった。法人全体の事業についてのアンケートである。

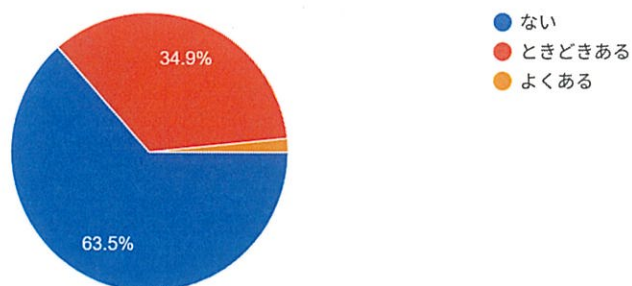
1 グーグルフォームでのアンケート回答結果

以下は、グーグルフォームでの回答結果についての集計結果である。回答数は、6 4 件であった。

職員のご利用者への対応で不満を感じたことはありますか
64 件の回答

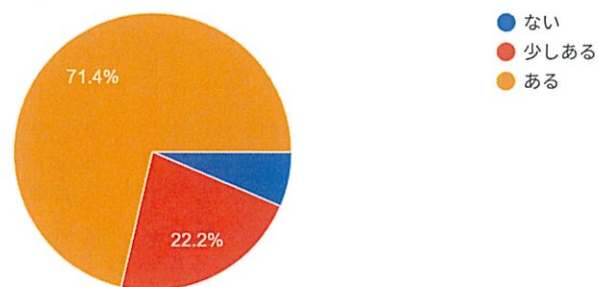


職員のご利用者への対応で不安を感じたことはありますか
63 件の回答



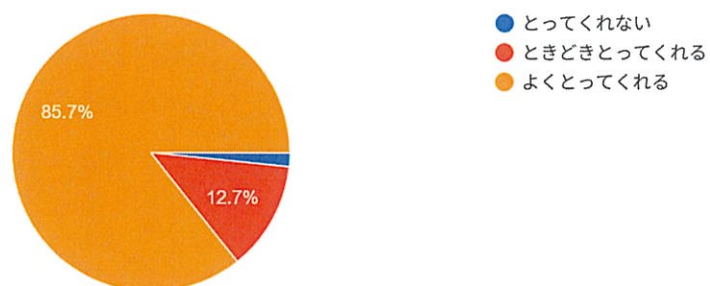
不満や不安はすぐに話をできる状況にありますか

63 件の回答



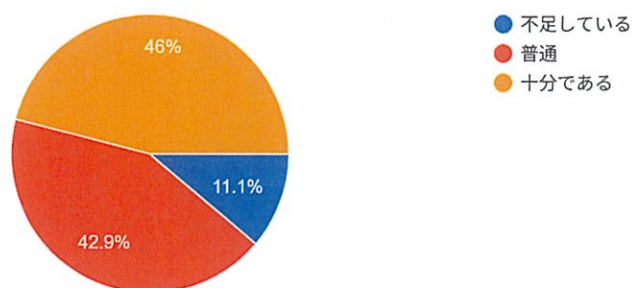
職員は相談に納得のいく回答・改善策をとってくれますか

63 件の回答



支援計画やモニタリング報告の説明を十分うけていると思いますか

63 件の回答



2 書面でのアンケート回答結果について

書面での回答数は合計 177 件であった。以下は回答結果である。

職員のご利用者への対応で不満を感じたことはありますか

- | | |
|----------|------|
| ① ない | 139件 |
| ② ときどきある | 35件 |
| ③ よくある | 2件 |
| ④ 回答なし | 1件 |

職員のご利用者への対応で不安を感じたことはありますか

- | | |
|----------|------|
| ① ない | 132件 |
| ② ときどきある | 39件 |
| ③ よくある | 3件 |
| ④ 回答なし | 3件 |

不満や不安はすぐに話をできる状況にありますか

- | | |
|---------|------|
| ① ない | 17件 |
| ② すこしある | 39件 |
| ③ ある | 117件 |
| ④ 回答なし | 4件 |

相談に納得のいく回答・改善策をとってくれますか

- | | |
|------------|------|
| ① とってくれない | 8件 |
| ② 少しとってくれる | 32件 |
| ③ とってくれる | 126件 |
| ④ 回答なし | 11件 |

支援計画やモニタリング報告の説明を十分受けていると思いますか

- | | |
|-------------|-----|
| ① 不足していると思う | 17件 |
| ② 普通 | 87件 |
| ③ 十分であると思う | 65件 |
| ④ 回答なし | 8件 |

3 「滝乃川学園へのご意見やご要望があったらお書きください」との質問に対しては、グーグルフォームで40件、書面で177件の回答が得られた。概要は次のとおりである。

踏切事故に対し深い悲しみ・ショックを表明する回答が多数あった。

職員の対応に対する感謝・信頼に関しては、多くの利用者家族が「安心して預けられる」「親切で丁寧」「感謝している」と高く評価している。一方で、対応のばらつきや新人職員の教育不足を指摘する声も見られた。

本件事故に対する懸念と再発防止への要望として、事故の背景には支援体制や人員配置、組織運営の問題があるとの指摘があり、支援時の安全対策強化や職員体制の見直しを求める声が多数あった。

組織運営・説明責任・体制への疑問として、事故後の情報開示や法人責任の所在に対して説明不足・不透明さを懸念する声があった。管理職や理事長の対応に対する厳しい意見も見受けられた。

保護者とのコミュニケーション改善要望として、情報共有の不足（担当者変更、預かり金管理、生活記録など）について改善を要望する声、定期面談の実施、相談窓口の明確化を望む意見が多数みられた。